



World Karate Federation General Secretary Office News Letter vol.63

Edition September 11th, 2018

第18回アジア競技大会

■OCA会長が空手を観戦

8月、インドネシアで第18回アジア競技大会が開催されました。アジアオリンピック評議会(OCA)が4年に一度開催し、アジア諸国が注力する「アジア版オリンピック」です。

空手の会場にはOCAのシェイク・アフマド会長が来場し、男子組手-84kg級の決勝を観戦しました。アフマド氏は、2024年パリ・オリンピックのみならず、オリンピック・ムーブメント全体に少なからぬ影響力を持つ人物です。

観戦中、WKFエスピノス会長と共に競技ルールや選手の情報を説明しましたが、クウェート出身のアフマド氏も空手を習った経験があるそうで、技に関する知識がたいへん豊富でした。競技に対して好印象を持ってもらえたこと、そして空手が世界の隅々まで普及していることを改めて実感し、嬉しく思います。

■スポーツと礼節

今回、組手の決勝戦で敗退した選手が、表彰式で無礼な態度を取るという不名誉な出来事がありました。この選手に対しては関係者が厳しい懲罰を検討しています。

空手は「礼節」を標榜しています。オリンピックであろうと、市井の愛好家であろうと、たった1人の軽率な行ないが「空手」全体のイメージを損ないかねません。

昨今、国内外のスポーツ界での不祥事が報じられているのは非常に残念なことです。



空手を観戦に訪れたOCAのシェイク・アフマド会長(中央)は空手経験があり、技の知識も豊富でした。

オリンピックに参加するにあたり、どのスポーツにも大前提として要求されるのが「クリーンなアスリートを守ること」です。「クリーン」とは具体的に、競技ルールはもとより、反ドーピング規則や倫理規定、マナーを遵守することです。

透明性の高い選考過程を経て、もっとも優秀な選手が代表権を得、高いパフォーマンスを発揮することで世界の模範となることこそスポーツを通じた社会貢献の象徴であり、オリンピック・ムーブメントの精神を体現する態度なのです。

空手においては、形種目で「演武前後の礼を忘れると反則」というルールがあります。多様な文化的背景を持つ国々が参加することから礼節を規則化したわけですが、これには、「関係者の高いモラルによって高潔性が保たれる競技でありたい」というWKFの願いが込められています。

世界空手連盟 事務総長

奈藏稔久

世界空手連盟 事務総長事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル7階
電話 03-3519-8520 FAX 03-3519-8521 wkf@wkf-gs.jp